

## 様式第 2 号(第 9 条関係)

## 会 議 録

会議の名称	令和 5 年度第 2 回介護保険等運営審議会			
開催日時	令和 5 年 6 月 2 7 日(火) 開会時刻 午後 1 時 1 5 分 閉会時刻 午後 1 時 4 5 分			
開催場所	本庁舎 A 大会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	石川 亮	事務局	増村福祉部長
	委員	前田 守隆	事務局	齊藤高齢福祉課長
	委員	内藤 浩由	事務局	藤茂登高齢福祉課主幹
	委員	松本 三香子	事務局	古川高齢福祉課副課長
	委員	佐藤 昇	事務局	味戸保健センター副所長
	委員	葛籠貫 順久	事務局	中村地域支援係長
	委員	戸部 勝代	事務局	木村介護保険係長
	委員	島袋 俊子	事務局	大野主事
	委員	野溝 守	事務局	吉野専任主査
	委員	吉村 晃太	ぎょうせい	上野主任研究員
会議の議題	(1) 諮問について (2) 第 9 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0 人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	(1) 次第 (2) 「第 9 期ふじみ野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」策定の進め方 (3) 諮問資料 (4) 諮問書(写)			
事務局	福祉部高齢福祉課			

議事 の確 定	確定年 月日	令和 5年7月26日
	記名押 印	役職名 会 長 石 川 亮 印

別紙

発言者	発言の要旨
事務局	<p>【開会】</p>
石川会長	<p>【あいさつ】</p>
石川会長	<p>議題に入ります。最初に「諮問について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定にあたりまして、これまで市長から本審議会に諮問させていただき、ご審議の後、答申をいただいております。今回の「第9期計画」の策定にあたりまして、これまでと同様に諮問をさせていただきます。それでは、市長から会長に諮問をお願いします。</p>
市長	<p>【会長に諮問】</p>
	<p>令和2年度に策定した「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」が本年度をもって終了となる。このことから「第9期計画」の策定について、諮問をした。</p> <p>本計画は、これまでのパブリック・コメントにおいても数多くの意見が寄せられ、市民の関心も非常に高い計画でもある。</p> <p>少子高齢化、人口減少社会を迎えている今日、国民健康保険や後期高齢者医療などの健康保険制度、そして介護保険制度、これらはわが国の社会保障の根幹をなすもので、これから後に日本の社会を支えていくことになる子供たち、孫たちの世代。こうした若い人たちが将来希望をもてるような世の中でなくてはならないですし、また将来に大きな負担を背負わせてはいけないと思っている。</p> <p>現在、本市における介護保険料基準額については、保険料段階の弾力化や介護保険給付費等準備基金の活用等により保険料の上昇を極力抑えて設定してきたが、後期高齢者人口の増加に伴い要介護認定者は年々増えており、第9期計画策定においてはさらに厳しい状況と向き合う必要があると認識している。</p> <p>わが市の高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画については、本当に精一杯努力して進めているところだが、人口減少を迎えている中で、本制度の在り方そのものがこれから問われてくるのではないかと思う。現状のままでは立ち行かなくなってしまうことは目に見えている。</p>

発言者	発言の要旨
	<p>保険料の基準額も抑え、所得の状況により生活自体を圧迫しないようにするため現在所得段階を 15 段階にしているが、さらに細分化していくことも必要なのではないかと考えている。</p> <p>人口減少がすでに始まっている中で、介護保険だけに限ったことではなく、国民健康保険もしかりで、これまでの国の在り方が見直されなければ、次の世代が未来に夢や希望を持って生きていくことが困難になってしまうのではないかと考えている。</p> <p>今、国では少子化対策というが、むしろ国家的な危機であるのは、少子化に伴う人口減少ではあるが、人口減少そのものが国家存亡の危機にあるのではないかと。介護保険制度も世界に冠たる制度として作られたわけだが、社会が変わっていく中で、人口減少を食い止めていく上でも制度そのものの在り方を考えていかなければならないのではないかと。思う。</p> <p>このような基本的な考えのもとに、現行制度の中で精一杯頑張っていかなければならない。そして、よく施設を増やしていくと介護保険料に跳ね返ってくると言われるが、計算上はそうでも実際に施設を必要としている方々が、本当にいつ入所できるのかと待つようなことなく、施設を必要としている人に供給できるように構築していかなければならないと思う。このあたりのブレーキとアクセルの踏み方も微妙なところではあるが、必要としている人が安心して、余生を全うできるようなふじみ野市でありたいと思っている。負担する側、サービスを受ける側、双方のことを考えたうえで制度設計をしていかなければならないと思っているので、委員の皆さんには、忌憚のないご意見をいただきながら、ふじみ野市流を構築できるようお力添えをいただきたい。</p>
事務局	<p>諮問につきましては、以上になります。</p>
	<p><b>【市長 退席】</b></p>
石川会長	<p>次に「第 9 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>計画の策定は、昨年度に実施した「在宅介護実態調査」「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」等の内容分析。検討し、市内高齢者・介護保険施設の現状分析、国の介護保険制度改正への動向を勘案し策定していく。</p> <p>分析・検討は、市の課長職で構成する「庁内検討委員会」で行い、検討委員会で決定した素案をこの運営審議会に提出。この提出された素案の適否等について審議して原案としてまとめる。</p>

発言者	発言の要旨
	<p>計画原案は、12月から1月頃にパブリックコメントを実施する予定。</p> <p>次に計画の概要については、現計画に盛り込まれております各施策の進捗状況や事業効果を検証するとともに、国や県の動向を踏まえ、ふじみ野市の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を推進するため、第9期の計画を策定する。</p> <p>計画の位置づけと基本理念は、現在策定中の市政運営の指針となります「ふじみ野市将来構想 from2018 to 2030」や「ふじみ野市地域福祉計画」等各個別計画と整合性を図るものとする。</p> <p>これまで老人福祉法に規定されている「高齢者保健福祉計画」と介護保険法に規定される「介護保険事業計画」を一体的なものとして策定してきたので、今回の計画策定においても、施策の継続性の観点から両個別計画を一体的に策定し、計画名称を引き続き「ふじみ野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」とする。</p> <p>計画策定のスケジュールは、最終ページのとおりだが、中段より下の審議会の実施予定も6月とほぼ現在のところ予定通りに進んでいる。</p> <p>3ページからは 本年2月に開催された国の社会保障審議会介護保険部会に出された第9期計画において記載を充実する事項である。</p> <p>大きくは (1) 介護サービス基盤の計画的な整備  (2) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組  (3) 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進</p> <p>の3本の柱になります。</p> <p>第8期計画では、任意記載事項であった地域包括ケアシステムの取組が第9期計画では、記載を充実する事項とされている。</p> <p>また、「認知症基本法」が可決されたところであるが、同様に任意記載事項であった認知症施策の推進も記載を充実する事項として盛り込まれた。</p> <p>また、5ページからは参考として主な高齢者分野計画の流れと今後の見通しを用意していますが、秋からは介護保険料についても審議することになっている。</p>
佐藤昇委員	<p>【質疑1①】</p> <p>資料の5、6Pにある第6期の保険料4,650円が7期も同額で、基金を切り崩して補填したということだと思うが、現在基金はどうなっているのか、また今回はどう使っていく予定か。</p>
事務局	<p>基金等を活用して第7期の保険料は上昇を抑制して第6期と同額にした。第8期は給付費の上昇もあり保険料を上げたところである。第9期に向けても、極端に上がらない方向で、基金などを活用しながら保険料を算定していく予定である。</p>

発言者	発言の要旨
佐藤昇委員	<p><b>【質疑 1 ②】</b>  ふじみ野市は、全国と比べても保険料は安いが、何か理由はあるのか。</p>
事務局	<p>明確なデータは持ち合わせていないが、本市では比較的重度の要介護者が少ないということと介護予防に力を入れているのでその効果が出ているのではないかと考えている。したがって、今後も継続して介護予防に力を入れていきたいと思う。</p>
石川会長	<p><b>【質疑 2 ①】</b>  今後介護保険料を払うのは若い人たちだと思う。学校教育で介護保険が必要であるというようなことを児童・生徒に教えることはこれからのことを考えると必要ではないかと思うが、やっているか。</p>
事務局	<p>市の現状の取組としては、毎年度文京学院の学生向けに出前講座を開設している。また、小中学生には、今後認知症の人も増加してくることから理解を深めてもらうために認知症サポーター養成講座を実施している。</p>
石川会長	<p><b>【質疑 2 ②】</b>  介護保険料についての説明はやっていないということか。</p>
事務局	<p>保険料についての説明はしていない。</p>
石川会長	<p>その他について、</p>
事務局	<p>次回の審議会は、8月28日(月)を予定している。</p>
石川会長	<p><b>閉会</b></p>